

山形県教育センターだより

山形県教育センター

研究・情報課 指導主事 伊藤 泰司

1 はじめに

県教育センターは、本県教員の中核的な研究・研修・相談機関として、教員の資質向上のための研修の充実、教育課題を踏まえた実践的研究の推進と成果の普及、そして学校や各研究会の研究・研修活動への協力、さらには各種教育資料の情報発信などを通じて、学校や先生方の支援を行っています。

2 調査研究

第6次山形県教育振興計画に基づき、時代の要請を受けた調査研究や、今年度告示されました小・中学校の新学習指導要領の施行に向けた授業実践課題について、学校や教育機関と連携しながら調査研究を進めています。今年度、本センターで進めている研究事業について、概要を紹介いたします。

① 「探究型学習」によって確かな学力を育成する授業づくりについて [H27年度から3年間]

児童生徒の能動的・協働的・課題解決的な学びを通して、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、知識・技能を活用するために必要な思考力・判断力・表現力等や、自ら課題を設定し、自ら学び主体的に課題を解決していく「探究する」力を育成するため、学習の在り方や授業づくり等について研究します。

② 小学校英語教育に係る学校ニーズへの対応 [H29年度から3年間]

2020年度の小学校における外国語科（英語）必修化に向けた基礎研究および研修プログラムの開発をについて研究します。

③ 教育の情報化に係る学校ニーズへの対応 [H29年度(単年度更新)]

「情報教育」「教育におけるICT活用」「校務の情報化」の3つの領域について、本県教員のICTに関する能力向上のための研究・開発を行います。

④ 特別支援教育に係る学校ニーズへの対応 [H29年度(単年度更新)]

特別支援教育力の向上に資するため、適切な教育課程の編成、授業づくり、校内支援体制の活性化等に関する研修資料作成及び普及・推進を行います。

⑤ いじめ防止対策支援プログラムの推進

[H29年度(単年度更新)]

いじめ防止対策支援プログラムの推進・普及を図るとともに、保護者連携、早期発見・早期対応、未然防止実践の各プログラムの改善を進めます。

⑥ 長期研修生が主体的に設定したテーマによる研究(6か月・12か月)

県教育センターの研究の共同研究者として研究を進める「研修A」と、研修生が主体的に設定したテーマにより研究を進める「研修B」の2種類を実施しています。

今年度は「研修B」において、特別支援学校から研修生を迎え、それぞれの教育課題について研究を進めています。

3 「教育の情報化」に関する研修講座

今年度は、以下の「教育の情報化」に関する研修講座を実施しました。昨年度からの変化としては、新学習指導要領において小学校におけるプログラミング教育が必修化されたことを踏まえ、「小学校プログラミング教育実践講座」を新しくスタートしたことが挙げられます。講師にビジュアルプログラミング言語Scratchの第一人者である青山学院大学客員教授 阿部和広先生を迎え、各学校におけるプログラミング教育を推進するリーダーの養成を目的に実施されました。その他にも、各学校や教育機関から依頼を受け、教員を対象にした出前講座も実施しています。

<初任者研修>

- ・教育の情報化

<フォローアップ研修>

- ・ICT活用入門講座

- ・情報教育基礎講座

<専門研修>

- ・小学校プログラミング教育実践講座

- ・ICTを活用した授業づくり講座

4 おわりに

県教育センターでは、これからも各学校や教員の教育の情報化に係る学校ニーズに応じて、きめ細かなサポートを実施いたします。お気軽にご相談ください。